

## 恵庭市総合計画審議会第3回専門部会

### (教育福祉部会) 議事録 (要旨)

日時	令和7年6月3日(火) 10:00~11:30
場所	恵庭市役所 302 会議室
出席者	船田 清 委員 (恵庭市社会福祉協議会)
	大塚 ひろみ 委員 (恵庭市文化協会)
	工藤 雅人 委員 (恵庭市校長会)
	小田 進一 委員 (恵庭市私立保育連合会)
	杉本 貢 委員 (市民ワークショップ委員)
	茶園 利紀 委員 (恵庭市スポーツ協会)
議事	・ 審議事項
	・ 第6期総合計画の基本構想(素案)について
	(1) 基本目標4について
	(2) 基本目標7について

流れ	内容
開会	<p>●企画振興部次長 開会のあいさつ</p>
素案審議	<p>●部会長 本日は基本目標4と7について議論します。忌憚のないご意見をお願いいたします。時間は2時間を予定しております。</p>
	<p>●部会長 「学力体力向上推進事業費」の小学校の体育事業支援とは、外部から人を呼んでいるのでしょうか。</p>
	<p>●A委員 はい、人の配置だと思います。専科教員とかですね。中学校は体育の専門の先生がいるので問題ありません。</p>
	<p>●部会長 中学校は部活動に外部ボランティアを入れていますが、小学校では何をしているのでしょうか。</p>

素案審議	<p><b>●A委員</b></p> <p>小学校は体育の授業で専科教員がいないため、担任が教えなければなりません。それが課題なので、体育や英語など国が教員配置を進めているため、そういった部分なのかなと。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>担任以外で専門の人を、ということですね。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>もしくは担任の先生を補助する補助員の方が入っているのかもしれませんが。部活とは違いますね。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>授業ということですね。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>はい、授業です。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>おそらくNPOや専門学校、もしくはセントラルスポーツさんなどがサポートしているのだと思います。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>これは初めて聞きました。</p>
	<p><b>●B委員</b></p> <p>「部活動移行に関する実施事業委託」についてですが、中学校の部活動を部外者に頼む、あるいは教育委員会が担当で地域移行となると学校関係なので、スポーツ協会と教育委員会が連動して行うと聞いていますが、その辺りはどうお考えですか。我々現場としてはよくわからず、あちこち聞いてもなかなか話が見えてこない部分があります。指導者として関わっていても、なかなか見えてきません。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>そうですね。団体に委託したり、市の会計年度任用職員として行ったりと、事業と委託で違いがあると思います。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>個人と団体ですね。個人と契約する場合は施行実施事業、団体と契約する場合は委託事業になると思います。まだ話がまとまっていないため、各担当に下ろすと混乱するということで、関係者だけで止まっているようです。</p>
	<p><b>●B委員</b></p> <p>実際、市の団体がスポーツ協会の実績を簡単に受け入れるのは難しいですからね。わかりました。人もいないですし。</p>

素案審議	<p><b>●C委員</b></p> <p>今年の予算なので「地域移行」という文言が良いと思いますが、来年度以降、先日有識者会議の提言で「地域展開」という提言が出されたそうですが、事前にアナウンスはありますか。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>部活動のことですか。</p>
	<p><b>●C委員</b></p> <p>有識者から、地域移行という言葉に「地域展開」という言葉にしようという提言が今出ています。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>それは文部科学省の有識者会議の提言ですか。</p>
	<p><b>●C委員</b></p> <p>はい、スポーツ庁と文化庁など、かなり上のレベルですね。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>まだ国の提言なので、地域移行という別称が地域展開に変更になっても、中身は変わらないという書き方をしていますね。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>はい、C委員がおっしゃるように、国の方でも様々な政策や新たな施策を打ち出していくことになると思います。そういったものも踏まえながら、この10年間で様々な事業を展開させていきたいと考えておりますので、「地域展開」と「移行」という言葉の違いはありますが、地域にスポーツという方向性は今後10年間の中であると考えております。そのため、部活動だけでなく、地域との連携という点で、コミュニティスクール運営なども共同の取り組みの中に入れていくことになると思います。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>全国一律というのは、北海道の場合は冬があるので、夏場は中学生も自転車で移動可能ですが、冬場はどうするのか。島松から恵庭まで自転車で来させるのかという、様々な問題があります。本州や東京、札幌などの場合は公共交通機関が発達しているのでそれを利用すれば良いのですが、岩見沢が試行したようにタクシーで移動させると言ってもスポーツだけではないので、文化活動もあるということで大変だという話を聞いています。10年スパンですが、今60歳の方が教えたとしても、10年後は70歳で、では後継者がいるのか。なかなかいないというところはB委員が詳しいと思います。</p>
	<p><b>●B委員</b></p> <p>私はあと10年で90歳なので、指導はできません。健康上の問題もありますので、この話は難しいところです。</p>

素案審議	<p><b>●部会長</b></p> <p>それをまた教員に戻したら、教員の方々は本当に大変なことになります。そうでなくても教員のなり手が少なく、かなりネックになっている部分だと思います。そういう難しい問題だと私は思っています。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>そうですね。ただ、札幌ではかなり前から大規模に行われていて、小学校の校長先生が来なくても所長が来るような状況です。具体的な動きが見えないと感じています。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>小中学校では年に3回会議を行っています。中学校区ごとの公開授業や教育交流、「懸け橋プロジェクト」という恵庭の取り組みでも会議が行われていると思います。これはステッププログラムといい、教育課程の連携ですね。福祉的な観点ではなく教育的な内容です。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>恵庭はほとんどが認定こども園なので、単独の保育園がほとんどありません。そのため教育部門で行っても良いのかもしれませんが。純粋な保育園があれば、それは福祉なので教育だけではいけませんよね。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>乳幼児が小学校1年生になった際に、学校に来れなくなってしまう子が多いので、そこを解消するために幼稚園と同じような内容を4月から5月くらいに行います。立ち歩いてしまい、45分の授業に耐えられない子もいるためです。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>小学校に行って、次の年長さんが授業を見学したり参加したり、指導者レベルでの連携協議会のようなものも行われていますか。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>小中学校は同じ区域なので、校区ごとにいくらでもできますよね。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>恵庭の子どもでも、千歳や北広島の幼稚園に通っている子たちが小学校に行けないということもありますよね。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>あとは、公立の幼稚園や保育園と公立の小学校は連携しやすいですが、私立のことをどうするのかという問題もあります。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>恵庭に市立幼稚園はありますか。</p>

素案審議	<p><b>●D委員</b></p> <p>恵庭にはありません。保育所は私立がほとんどです。今、市立の保育所は1園だけです。設置義務というか、委託してしまえば私立といっても市が責任を持つことになります。深夜の預かりを行っている保育所もそうです。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>他のまちに通っていても、全員に案内が行くのではないのでしょうか。</p>
	<p><b>●A委員</b></p> <p>小学校でこれをやるなら、恵庭の小学校の校長先生は他の市町村には出せないとはいえ、小学校から案内を出すはずです。受け入れ側も、大体の小学校は見学に行けないけれども、預かりの場所では子どもたちがあまり、いわゆる教員免許なしで、保育所などは空き時間がなくて行けないという方が多いですよ。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>かつて南区に附属幼稚園があり、小学校の隣で年に3回、小学校の担当者や校長先生が頻繁に行事や説明を聞いたりしていました。私は恵庭に来て5年目ですが、近隣の小学校の校長先生に会ったことがありません。入学式や卒業式の案内もほとんど来ないので、こちらから副園長に積極的にアプローチするよう伝えています。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>「幼保小連携推進事業」という名前で事業を行っています。もし今後、教育委員会や子ども未来部に呼びかけていく方が良いということであれば、ぜひ意見を出してください。それをメモして反映させるかどうか検討したいと思います。やはりもっと積極的に小学校や、人間関係における連携を推進すべきだというご意見ですね。小中学校は「連携教育の推進」となっていますが、こちらはどうですか。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>小中連携教育の推進はかなり行われています。しかし、幼保小は「連携推進事業」なので、「推進し」という言葉は入っていませんね。推進事業という名前なので、その名前を載せただけです。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>「推進事業の推進」だと「推進」が二つ入ってしまうので、あまり使いませんね。</p>
	<p><b>●D委員</b></p> <p>連携事業の推進でも良いですが、もっと具体的に積極的に取り組んでいただきたいところですね。</p>

素案審議	<p><b>●部会長</b></p> <p>そのご意見を、次の調整会議や最終的な審議会でも共有できるよう、メモしておいていただけますか。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>実施計画に載せるのであれば、調整して載せていきたいです。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>よろしくをお願いします。その他、事業に関して何かご質問はありますか。</p>
	<p><b>●C委員</b></p> <p>図書館についてお伺いします。先日、雨の中でしたが古本市が開催され、多くの方が来場していました。この古本市は年に2回行われていて好評です。図書館の建物は築40年ほど経過しており、第6期計画の10年間を考えると築50年を迎えます。この建物について、長寿命化計画に基づいて新築するのか、引き続き使うのか、改築で済ませるのか、それとも壊して新築するのかを検討する必要があると思います。もし新築するならば、多様なニーズを考慮した複合的な要素を取り入れた施設にするかどうかも含めて、検討すべきではないでしょうか。水道管の破裂など、建物のハード面には寿命があります。第6期計画の中で、この検討を盛り込んでおくべきだと感じました。10年のスパンで見ると当然検討課題になってくると思います。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>図書館については建設後33年が経過しており、令和7年か8年頃に改修の基本計画を策定する予定です。現在、建設費が高騰しているため改修時期は確定していませんが、第6期計画期間中には改修やそれに類することが行われると考えています。この件は総合計画の基本目標には具体的な事業として盛り込まれませんが、実施計画には確実に記載する予定です。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>それは今年の予算ですか。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>はい、そうです。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>今年の予算に、大規模改修の基本計画や長期修繕計画策定、民間活力可能性調査として1,720万円が計上されています。C委員のおっしゃる内容は、具体的な年数は不明ですが予算化されているのでそう遠くないうちに進むでしょう。総合計画にどう反映されるかは難しいですが。</p>
<p><b>●事務局</b></p> <p>実施計画の中で出てくると思います。</p>	

素案審議	<p><b>●部会長</b></p> <p>総合計画には大きな項目でしか載らないかもしれませんが、実施計画を作成する際に、今年予算に計上されているということは、実施計画の中で詳細が示されるということですね。B委員何かご質問はありますか。</p>
	<p><b>●B委員</b></p> <p>先日、部会長からスポーツ関係の情報が少ないというお話がありましたので、恵庭市のスポーツ協会登録状況の資料を共有します。恵庭市には7万人市民がいますが、実際にスポーツ協会に登録して活動しているのは22団体で1,886名、2,000人に満たない状況です。この表は令和元年度から令和6年度までの状況を示しており、増減を見ると22団体のうち約10団体で会員数が減少しています。増えているのは卓球などの室内競技が中心です。私はソフトボール協会の副会長と審判長も務めていますが、屋外競技、特にソフトボールでは少子化で子どもが少なく、中学校の部活動移行の話にもありますが、プレーする子どもがいません。さらに、指導者も不足しており、市に登録している指導者は8人しかいません。野球、ソフトボール、バスケットボール、サッカーなど、競技は多岐にわたりますが、指導者の少なさは顕著です。高齢化も進み、競技に参加できない会員も増えています。これが恵庭市のスポーツの現状です。スポーツ協会を代表してこの情報を提供いたしました。</p>
	<p><b>●副部会長</b></p> <p>鈴木吾郎作品寄贈関係事業費についてですが、先日、島松の夢創館で鈴木吾郎先生の作品展が始まりました。ボランティアの方のお話では、先生の作品は人気があるそうで、2年くらいは展示できるだろうとのこと。しかし、ボランティアの方も80歳ほどで、10年後どうなるか心配です。先生の作品や他の故人作家の作品も、ご遺族からは価値がないと言われることが多いようですが、全道的、全国的に見れば価値のある作品も寄贈したいと言ってもなかなか預かってもらえないのが現状です。その中で、鈴木吾郎先生の作品が受け入れられたのは喜ばしいことですが、これらの作品の保管や、今後10年間も展示を続けていくのかどうかをお伺いしたいです。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>恵庭市には美術館がないため、作品を劣化させずに保存・保管していくのはかなりハードルが高いと考えています。鈴木吾郎先生の作品については、ふるさと納税などの文化振興基金でなんとか対応できている状況です。10年後に保存・保管できるスペースを確保できるかという点、正直、予算的にもスペース的にも現時点では難しいです。</p>

素案審議	<p><b>●部会長</b></p> <p>寄贈していただいた以上、市が責任を持って保管するのは当然ですが、常設展示が可能かどうかは現段階では断言できませんね。私もそう感じます。体育館の端にも飾ってありますよね。</p>
	<p><b>●副部会長</b></p> <p>鈴木先生のブロンズ像は屋内にしか置けないので、これだけの数を保管するのは大変だろうと思います。この作品を今後どうしていくのか考えると少し心配です。</p>
	<p><b>●C委員</b></p> <p>そういった点では、スマートシティ構想という観点から、郷土資料館や図書館、美術館、市民会館などをトータルで考えるべきではないでしょうか。10年スパンで重点をどこに置くか。郷土資料館もあれば、先日シンポジウムがあった第5遺跡のような素晴らしい財産・自然もあります。これらをどう組み合わせで構築していくか、全てを維持していくのは大変だと思います。人口が横ばいか減少かはわかりませんが、スマートシティの視点から考えると、二つの施設を一つに統合したり、複合施設にしたりすることも考えられます。喫茶店が入っていたり、誰もが来れて、集まって、憩えるような、魅力的な多種多様な人々が利用できる場所になれば良いですね。</p>
	<p><b>●副部会長</b></p> <p>それに関連して始まったのが「芸術文化宅配事業」です。恵庭には美術館がないため、誰にでも作品を見てもらいたいという思いで、作家さんがボランティアで作品を提供し、希望する場所で展示するというものです。これも現在、高齢化などで活動が停滞している部分もあります。芸術文化作品は、そこに行けば見られるというのももちろんですが、無くなったときに「ここに何かあったよね」と寂しくなるような、そういうものであっても良いのではないかと。著名な作家だけでなく素人の方もいるので、普段からそうしたものに触れてほしいのです。企業さんも募集していただきますが、作家さんがなかなか自分の作品を企業に見に行けなかったり、他の方が見られなかったりするのが課題だと感じています。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>基本目標7に「重要文化財の保管や常設展示方法の検討」という項目があります。第6期の総合計画では、「文化・芸術・文化財保護の推進」として、「誰もが恵庭の歴史や文化を学び続けられ、芸術活動、音楽活動に親しめるまち」を目指す姿としています。子どもから大人までが交流の機会を創出し、活動に親しめるまちを目指す姿に、まさに今副部会長がおっしゃった内容が含まれると思います。総合計画にはこういった内容が含まれており、実</p>

素案審議	<p>施計画の中でその常設展示方法をどうしていくのかが示されるのではないのでしょうか。今回示された「目指すまちの姿」と副部長のお話が合致すると思います。これを実施計画の中で進めていってもらえるか、見ていきたいですね。</p>
	<p>●C委員</p> <p>前回の部会でも、「ふるさとに誇りを持つ」という文言について話しましたが、まさにこういうことだと感じますね。</p>
	<p>●事務局</p> <p>今、生涯学習基本計画を画面でお見せしていますが、これが令和7年度までなので、今後第6期の生涯学習基本計画を作成することになります。現状では、「多様な施設の利活用」として、市民会館を中心に公民館、夢創館などの公共施設や学校教育施設、民間施設などとの連携・協力によるさらなる利活用促進を図る計画になっています。これが生涯学習基本計画で今後10年でどうなっていくかというところがあります。生涯学習基本計画では、地域コミュニティ活動推進の共通目標の中に、文化芸術活動推進という個別目標があり、重点政策として多様な設備の利活用が挙げられています。第6期では、郷土資料館で「ふるさと教育の推進」として郷土資料館の利活用、個別目標2で「読書活動の推進」として図書館サービスの充実と環境整備、そして「文化芸術の推進」として多様な施設の利活用などを盛り込んでいます。これをブラッシュアップした形で第6期生涯学習基本計画が作成されると考えています。C委員がおっしゃったように、全てを合わせて考えるという点では、恵庭には様々な複合施設があります。恵庭地区には「えにあす」や「黄金ふれあいセンター」などがあり、それらの利活用も進んでいます。また、今後、島松地区と柏陽地区で複合施設が建設される予定です。かしのりもありますので、様々な方が利用する場所として、将来的には良いものができるかもしれません。今後10年で、どこまで踏み込むべきか、踏み込むではいけないのか、色々な側面があると思いますが、できることはしっかりと行っていくことになると思います。</p>
	<p>●部会長</p> <p>こういった基本目標4と7の中に、内容が大きな括りで入っている部分もあります。個別の内容については実施計画になるので、それぞれの担当で確認されるでしょう。各団体までは確認していませんが、各課で確認しています。文化協会として、担当課にお願いすることも必要ではないのでしょうか。B委員はスポーツ協会を通して、健康スポーツ課などと個別に話し合っていますよね。</p>

素案審議	<p><b>●B委員</b></p> <p>ちなみに、私は生涯学習計画の委員も務めています。</p>
	<p><b>●部会長</b></p> <p>それは良いですね。個別の計画はおそらく会議体を作ると思うので、その中で文化協会にも委員の依頼が来ると思います。そこで議論していただければと思います。これらの事業を市として盛り込んでいるということですね。</p> <p>本題に戻りますが、本日は最終の部会になります。初回にいただいた検討すべきポイントの4から7について、2回の会議でご意見を伺ってきましたが、内容については、おおむねこれらの項目で進めるということでしょうか。この部会で示された内容については、今月の16日に私と副部会長が調整部会で他の部会と打ち合わせを行い、意見を反映させていきます。最終的には7月の審議会でその内容が示され、皆さまにご意見をいただきながら、小磯会長が取りまとめを行う形になるかと思えます。他に何かありませんか。</p>
	<p><b>●C委員</b></p> <p>特別委員会の傍聴に行きました。議員の方々も総合計画について、複数回特別委員会を開いて話し合っているようでした。私は傍聴だけでしたが、人口動態の資料など、様々な計画の前提となる良い資料があると感じました。この部会でも共有できたら良かったと思います。</p>
	<p><b>●事務局</b></p> <p>はい、改めてご説明します。現在、恵庭市の人口は増えていると言われていますが、日本人人口は令和4年8月をピークに減少しており、外国人人口が今月末で1,200人となり、その合計で人口が増加している状況です。年齢別では、令和7年3月末で団塊ジュニア世代が最も多く、次いで団塊の世代が多くなっています。特徴的なのは、20代の1割が外国人であることです。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2050年には人口が6万人を下回ると予測されています。現在、令和7年の人口は予測で6万9,367人ですが、恵庭市は7万人いるので、若干上回っています。これは外国人人口の増加が影響していると考えています。総合計画の計画期間は令和17年までですが、その時点での国の推計では6万6,000人となっています。令和17年、つまり2035年の人口構成を見ると、団塊ジュニア世代が最も多く、団塊の世代がそれに続きます。恵庭には文教大学があり、また技能実習生や特定技能の外国人も入ってきているため、20歳から24歳の層が一時的に増えますが、就職時には減少するという人口構成になるだろうと想定されています。そのため、この10年間で労働力は減少傾向にあると見ています。この減少を外国人が補っているという実態もありますが、この状況でまちづくりを考え</p>

素案審議	ていかなければならないと議会でもお話ししています。
	<p>●部会長</p> <p>大きな企業に来て創業していただけるのはありがたいことですが、恵庭市内の日本人労働者が不足すると、外国人に頼らざるを得ない部分もあるでしょう。今後、恵庭市もその点を考慮していく必要があると思います。私もよく見かけます。戸磯から黄金方面へ自転車で通勤している方がいますが、冬はどうしているのでしょうか。</p>
	<p>●事務局</p> <p>冬は歩いたり、乗り合いタクシーを利用したりしていると聞いています。この流れを見ると、多文化共生には間違いなく力を入れていく必要があります。異なる文化を持つ人々が相互に理解し合うためには、地域住民の理解も、外国人の理解も、双方の理解が必要となるでしょう。そういったことも含めて、共生という観点で力を入れていく必要があると考えています。</p>
	<p>●C委員</p> <p>学校にも影響があるのでしょうか。</p>
	<p>●事務局</p> <p>技能実習生などは家族滞在ができないため、彼らが来ることによって日本語を話せない子どもが増えることはありません。しかし、技術・人文知識・国際業務ビザを持つ方々、つまり元々技術を持った方々であれば家族滞在が認められています。例えば、ラピダスの関係などで来日する方も実際にいて、小学校には有償ボランティアという形でサポーターを配置するといった取り組みが始まっています。ただ、現時点ではそれが目立つほど複数人いるわけではないので、今後どのように増えていくかを注視していく必要があると考えています。</p>
	<p>●D委員</p> <p>文教大学も定員確保のため外国人を受け入れるよう努力しており、副学長などは昨年、一昨年と東南アジアに出張しています。その成果が今後現れ、看護学科以外では今後、今よりも外国人学生が増えてくるかと思っています。</p>
	<p>●事務局</p> <p>恵庭では、文教大学も留学生を受け入れていますし、恵み野にキャンパスを持つ日本医療大学も留学生を受け入れています。日本医療大学ではまず恵庭で日本語を学び、その後、月寒にある医療大学へ進学するという形になっています。そのため、留学生についても注視していく必要があると考えています。ただ、日本でのビザの関係もありますね。どのビザで来日しているかによって、留学であれば労働ではないため労働時間に規制があったりします。ビザによって労働できる時間も変わってくるため、そのあたりの理解も</p>

素案審議	<p>進めていかなければならないと考えています。</p>
	<p><b>●B委員</b></p> <p>今の話に関連して、外国人が増えている一方で、実は町内会への加入率が減少しているという問題があります。恵庭の人口はほぼ横ばいか増加傾向にあります。大学生や外国人の皆さんは、ほとんど町内会に加入していません。市内人口が増えても、町内会の加入率は反比例して下がってきており、町内会長としては危惧しています。私の町内でも、アパートができて大学生や恐らくラピダス関連の社員の方が入居されていますが、話が通じなかったり、ドアを開けてもらえない状況です。これは私の町内だけでなく、他の60町内会も同じ状況だと思います。町内会費も減少しており、外国人の方が増えれば増えるほど加入率が下がるのが現状です。大学生は卒業すれば恵庭を離れてしまうため、町内会によっては会費を半額にしたり、無料にしても加入を促しているところもありますが、それでも学業やアルバイトで忙しく、町内活動に参加できない人もいます。文教大学にはボランティア部があり、積極的に活動してくれる学生もいますが、彼らも2年後3年後には卒業してしまいます。これは非常に難しい問題だと感じています。この状況は、スポーツや文化活動にも影響を及ぼしていると感じています。</p>
	<p><b>●副部会長</b></p> <p>恵庭は本当に住みやすいまちだと評判がとても良いです。北海道の中でも賑わっていて良いところだと言ってくれますし、生活していけるまちです。自分の意見を言いやすいまちであると同時に、市民が行政に何でも受け入れてもらえると思える部分もあるので、どこかで線引きをした方が良くと思います。できることとできないことを明確にした方が良いでしょう。</p>
<p><b>●事務局</b></p> <p>B委員がおっしゃった町内会加入率の低下などは、共生・生活部会でも熱心に議論され、皆さんの関心事として挙がっていました。副部会長がおっしゃった「住みやすいまちであり続けたい」という思いはもちろんありますし、10年間を見通すのは難しいです。例えば、コロナのような予期せぬ出来事も起こります。それでも恵庭が住みやすいまちであるという評価を現在住んでいる市民からも、これから住む市民からも得ていくためには、私たち行政だけではできません。「自助・共助・公助」という中で、自助が成り立たないからといってすぐに公助を求めるのではなく、適切な運営、情報発信、情報共有が必要だと思います。これは専門部会3つ全てに共通する話だと感じました。そういったことを総合計画審議会の中でも提案していきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いいたします。</p>	

素案審議	<p><b>●部会長</b></p> <p>一通りご意見が出ました。この部会でいただいた意見は、6月16日に行われる総合調整部会で私と副部会長が他の部会と調整し、反映させていただきます。その調整後、皆さまとは7月9日の総合計画審議会でお会いし、様々な議論ができればと考えています。</p> <p><b>●事務局（外山主査）</b></p> <p>次回審議会のスケジュールについて改めてお知らせいたします。7月9日水曜日14時から約2時間、市民会館中ホールで会議を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p> <p><b>●部会長</b></p> <p>今、事務局から話があったように、総合計画審議会が7月9日、2時間ほどで予定されています。これまでの総合計画の部会とは違い、今回は3回にわたって議論できたことは個人的にも良かったと思っています。皆さま、貴重なご意見を本当にありがとうございました。これを今後、事業部と調整し、親会に伝えていくべく、調整部会として取り組んでいきたいと思えます。</p>
閉会	<p><b>●企画振興部次長</b></p> <p>閉会のあいさつ</p>